

井川 かつひこ後援会 様

327-0023
栃木県佐野市相生町2816内

井川 克彦

請求日 2025-08-09
請求書番号 10059-8-1
登録番号 T3810514499096

ASAKAZEサポート



事業所：〒340-0005
埼玉県草加市中根3丁目29番-11-201
オフィス：〒327-0821
栃木県佐野市高萩町1299-1
お問合せ：090-6023-7393



下記の通りご請求申し上げます。

件名 ゆうメール発送代行料及びロジスティクス作業料一式

請求金額 **544,150円**

摘要	数量	単価	明細金額
ゆうメール定形50g以内	4,410 個	108	476,280
ロジスティクス作業料	4,458 個	15	66,870
ロジスティクス作業基本料	1 件	1,000	1,000

入金期日 2025-08-20

振込先



小計	494,682円
消費税	49,468円
合計	544,150円
内訳 10%対象(税抜)	494,682円
10%消費税	49,468円

領 収 証

井川 かつひこ

様 No. 47-011

★ ¥544,150-

但 ゆうメール発送代行料及びロジスティクス作業料一式

2025 年 8 月 11 日 上記正に領収いたしました

〒340-0005 埼玉県草加市中根3-29-11-201

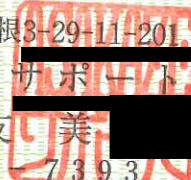
ASAKAZE サポート

伊勢友美

090-6023-7393

登録番号 T3810514499096

内 訳	金額(税抜・税込)	消費税額等
銀行振込	¥544,150	¥49,468-
税率 10%		
税率	金額(税抜・税込)	消費税額等
%		



市議会議員 井川克彦 様

金額 ￥117,700 -

但: 印刷代として

上記正に領収いたしました

小計	¥107,000
消費税(10%)	¥10,700

株式会社池田工務店
デザイン事業部
kideadesign



〒307-0001
茨城県結城市結城9593
登録番号: T1050001032441

領 収 書

令和 7 年 12 月 9 日

井川 克彦 議員

金額
(消費税込)

1,966円

令和7年度佐野市議会報告会費用分担金として、上記の金額を領収しました。
(令和7年11月15日開催)

佐野市議会報告会運営委員会委員長 早川 貴光



ゴリちゃん通信



井川かつひこ後援会事務局
〒327-0023 佐野市相生町2816 ノア外語学院内
Tel.0283-24-9569 Fax.0283-22-4747
◀ 井川かつひこ後援会ホームページはこちら



井川かつひこ
後援会公式LINE

>>こどもたちの、教職員みなさんの、学びに関わる方々の“未来のため”に

佐野市の教育環境について 深く切り込んで提言しました!!



市議会での
“8年ぶり”一般質問
のご報告

ご支援いただいている皆さま。6月6日(金)～23日(月)に開かれた佐野市議会本会議第4回定例会(6月定例会)で、井川かつひこ議員が6月12日(木)におこなった一般質問の概要をご紹介します。8年ぶりとなる一般質問は、教育環境について大きく3点の内容を質問しました。



1. 義務教育学校について
2. 小中一貫校整備事業におけるかえで義務教育学校の建設について
3. 城東中学校区小中一貫校整備事業について

市議会での第一声は「本日最後の質問者となります。私、佐野が好き過ぎて戻ってまいりました。たいたいませす。今回は8年ぶりの一般質問になりますので、当局の簡潔で明瞭なご答弁をご期待申し上げます。」でした。

当日の傍聴席満席状態で、井川ファミリー(後援会のみなさん)が、

期待と不安を胸に、固唾を飲んで見守りました。この一般質問の様子は、動画配信されていますので、ぜひご覧になってください。井川議員も少緊張しているようでした。



佐野市議会 議会中継の録画を動画で観られます。井川議員の一般質問をぜひご覧ください。

中面へ
つづく



井川かつひこ議員と“直接”話す・話を聞く／

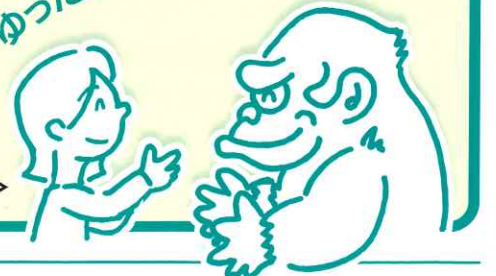
座談会のお知らせ

日時 9月11日(木) 19時～

場所 植野地区公民館

住所: 佐野市寺中町2297-1

ゆったり話せる座談会です。



どなたでも参加できます。未来のためにみんなで話しましょう!

< 次回の座談会は11月開催予定。後援会公式LINEアカウント等で情報を配信いたします >

1. 義務教育学校について

「田沼西地区小中一貫校整備事業」を始めた際の主な目標として「複式学級の解消」と「一定規模の学級・学校による質の高い教育の実現」としているが関連して伺いたい

<具体的な質問内容>

- ①この主な目標はどこまで達成されているか。
- ②質の高い教育の実現とは何か。

- ③義務教育学校において不登校やいじめの問題が多いと聞くが解消されているか。
- ④現在小規模校はいくつあるか。
- ⑤複式学級の問題点は何か。
- ⑥教員を増やしたりするなど、質の高い教育を提供するための支援策はあるか。
- ⑦葛生義務教育学校は何年後に複式学級になるのか。
- ⑧複式学級になった時の対策はあるか。
- ⑨先進のつくば市では小中一貫教育検証委員会を立ちあげ、調査検証

を実施し、その結果は小学校と中学校を分離していたほうが、施設一体型の学校よりも高い教育効果が得られたという報告があり、「2019年以降は施設一体型の義務教育学校は作らない、すでにある4つの義務教育学校についても小中を分離した学校運営をし、小学部の卒業式も中学部への入学式もきちんとやるようにする」とのつくば市教育長の談話である。特に6年生の意識低下の問題が指摘されたとのことである。これをどのように考えるか。

複式学級の解消は必要なのか?!



「複式学級というのがあたかも非常に問題があるという、そういうような認識だと思うのですが、この複式学級の問題点は何か」への答弁を受けて

「複式学級に関しては、もう既になくなった学校で、地元のほうであるのですが、そこでは**非常に複式学級が有効に使われていた**なというふうに私は印象を持っています。いじめもなければ、上の子が下の子をよく面倒見て、そして意外とみんなできるのです。落ちこぼれがないのです。また、その中にある程度発達障がいを持った子が入ってきたときも、僕は算数は誰にも負けないのだ

ということで、非常にその**特性を生かした教育**がなされていて、そして大きな中学校に入っても何の遜色もなかった、体育においても全国大会に行くような生徒も輩出していた、そして**地域では非常に一体となってその複式学級を盛り上げていた**という実例もありますので、今後複式学級の在り方に関しては、またご提案、ご提言していきたいというふうに思っております。」**井**



時代に合う教育環境の整備を!

質問1の最後に述べた井川議員の意見

「ここで意見を述べさせていただきます。従来の教育方法ですと、人数が少ないイコール教育の質が低いという先入観が根強くあるのではないかと思います。むしろ今の教育が抱える過密、一斉、画一化とは真逆の柔軟で人間的な教育形態として複式学級というのは、**実は未来志向のモデルとしてフィンランドや欧米諸国でもあえて異なる年齢の混合クラスを取り入れている事例**があります。また、

複式学級を未来型インクルーシブ教育として捉え直すことも考えられます。



いずれにしても、**教員の数を増やし、複数担任制や外部支援などにより**

教師が孤立しない体制づくりと、ICT活用により教材やおのおののクラスに対応した学習の最適化を図る必要があるのではないかと思います。**箱物よりも教員の数を増やし、教育の質を高めるためにぜひお金を投資する、今そのような時代ではないのかな**というふうに思いますので、今後ともこの教育の充実に当たってはよろしくお願いたします。」**井**

2. 小中一貫校整備事業における、かえで義務教育学校の建設について

<具体的な質問内容>

- ①地元説明会での内容を伺う。
- ②当初60数億円の建設費ということ
を教育長から伺ったと参加した町
会長から聞いている。算定根拠は
何だったのか。
- ③栃木県ではPFI方式(民間の資金・ノウ
ハウ・技術力を活用する方式)を推奨し
ているようだが、契約の直前にな
って新聞報道によりDBO方式
(民間事業者が設計・建設・運営を一括し
て行う方式)で104億円という数字

が出てきた。他手法と比較検証す
る間もなくDBO方式になったそ
の根拠は何か。

- ④民間活力の導入を掲げながら、なぜ
資金調達も市が担うDBO方式を選
んだのか。VFM(費用対効果)の前提
や算出根拠を明確に示してほしい。
- ⑤PFI方式における第三者評価制度
や契約監視の仕組みと比較して、
DBO方式の透明性と公平性はど
う確保されるのか。
- ⑥契約内容の柔軟性や監視体制が不

十分であると、15年間にわたって市
は過大な負担を抱える可能性がある。
維持管理内容を変更する必要が
生じた場合の柔軟な対応は可能か。

- ⑦オペレーションの部分で地元建設
業者やメンテナンス業者が関われ
ないため、市の財源を使っている
のに、市内経済にお金が落ちない
という問題を引き起こす。地域経
済への波及効果を考慮するため
に、市内企業の参入状況はどのよ
うに担保されるのか。

井川議員の質問

「新聞報道によると、栃木県では公共
施設整備にはPFI方式を推奨して
いる記事が出ておりました。～中略
～ところが、**契約の直前になって
やはり新聞報道で西中学校区義務教
育学校、DBO方式で104億円
という数字**が出てきました。ほかの
手法と比較検証と、その情報が公開
される間もなく、DBO、デザイン
も、ビルド、建てることも、Oはオペ
レーション、管理、これを一括して担
う方式になった、**その根拠は何か**
をお伺いをいたします。**104億円と**

**いう金額、これは市民にとっては驚
きであり、市の財政負担を不安視
する声が上がっている**こともご承
知かとは思いますが、ご答弁をよろ
しくをお願いいたします。」**井**



川村教育部長の答弁

「かえで義務教育学校の整備手法に

つきましては、事業費総額が10億円
以上となることから、本市のPPP
/PFI手法導入優先的検討方針に
基づきまして、令和4年度に導入可
能性調査を行い、この方針で位置づ
けられております事業方式につきま
して、庁内検討委員会で比較検討し、
VFM評価が最も高いDBO方式に
よる整備を選択し、令和5年8月に
議員全員協議会におきまして、この
内容をご説明いたしました。その後、
佐野市立西中学校小中一貫校整備事
業基本構想をホームページで公表い
たしております。」

3. 城東中学校区 小中一貫校整備 事業について

<具体的な質問内容>

城東中学校区小中一貫校整備事業の
説明がされたが、狭い敷地に質の高い
教育を実践するための施設や校庭も
確保できないのであれば、**小中分離
型も街中では可能か**と考える。
教育施設の整備には、**教育の質、地域**

関係、長期的な財政の健全性という
のが不可欠と考える。情報も**市民に
わかりやすく公開**するとともに市内
事業者との連携や契約の柔軟性につ
いても**十分な配慮をもって進め
て欲しい**が見解を伺いたい。



**井川議員一般質問の全文は、
ホームページで公開しています!**



igawakatsuhiko.com

ビジョンを掲げて前進を!

一般質問の最後に述べた井川の意見



「適正配置が最優先されるわけですが、小規模校になっても複式学級になっても、教育の質というのは幾らでも維持できると思うのです。そこにやっぱり教育の本質があるわけで、そこを除いてただ単に適正配置だけを捉えて力仕事でやってしまうと、コミュニティも崩壊してしまう。どこでどう転換するか分からない。佐野市は非常に有能なまちだと思っています。ポテンシャルも

高いです。ですから、これからどう変わっていくか分からない。特にまちなかでも、あるいは中山間地でも復興する、復活する機会がたくさんあると思います。そうしたときにそういった教育が人数ではない、どういう教育が行われているかというのが市の顔になっていくわけです。そして、そのことによって人が佐野を選んで、そしてそこに新しい拠点がたくさん生まれるという

可能性を佐野市は持っていると思います。

そういったことでマイナスの傾向だけではなくて、**ビジョンを掲げながら、そのビジョンに向かって佐野はこうしていこうという、そのような方向でぜひこの教育の分野において進んでほしい**なというふうにお願いを申し上げます。私の一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。」#

IGAWA's Message



ご支援いただいている皆様の元へ、ゴリちゃん通信をお届けできることを大変嬉しく思っております。ぜひ、ご一読いただけましたら幸いです。

一般質問でも述べましたが、義務教育学校に関して、佐野市が参考にした先進モデルであるつくば市は、義務教育学校を今後作らない、そして従来の義務教育学校も小中学校分離型で行うという方針が、教育長から出されました。また、となりの足利市も分離方式という方向で動いているようです。やはり、佐野市の義務教育学校推進には**どうしても無理がある**と思います。

私が公約に挙げた通り、未来のために**教員増と教育の質の向上にお金を投資すべき**です。

市議会の5月臨時定例会で、正副議長選挙が行われました。私は現在のどの会派にも属していませんが、建設常任委員会委員長にご推挙頂きました(これは異例なことです)。その後6月定例会最終日において、佐野市議会選出の**監査委員**に「全会一致」でご承認を頂き、**就任**致しました(それに伴い建設常任委員会の委員長は辞職しました)。これも与えられた使命として2年間の任期を全うする覚悟です。#

後援会会員募集中

佐野市の**未来のために** **夢と勇気を**
共有・ご支援いただける
後援会の**新規会員を募集**しています

「まち、ひと、しごと、すべてが躍動する佐野市の未来」を井川かつひこと一緒に創っていきましょう!

登録は後援会公式LINEアカウントを**友だち追加**のみでOK!
座談会開催のお知らせや、活動の情報などを配信いたします。
後援会ホームページからも会員登録を受け付けております。

井川かつひこ後援会
公式LINEアカウント



@376urmsi